

# 会議録（要旨）

## 1 会議名

第3回 小倉都心地区夜間景観検討会

## 2 開催日時

平成29年7月25日（火） 13時00～14時40分

## 3 開催場所

北九州市立小倉城庭園

## 4 参加者

【構成員〔学識・有識者〕】（50音順、敬称略）

赤川 貴雄、大森 今日子、松山 祐子

【構成員〔団体・地域〕】（50音順、敬称略）

岩原 美樹、大村 美波、近藤 聡子、土井 茉由梨、仁木 須真子、前田千晶

【事務局】

建築都市局総務部長、都市景観課長、景観形成係長

【関係部署】

都市マネジメント政策課、商業・サービス産業政策課、道路維持課、みどり・公園整備課、水環境課、まちづくり推進課、小倉北区役所総務企画課

## 5 議題

過去の検討会における意見、アンケート結果をふまえた、場所・視点場(点)、ケーススタディ箇所(線)、エリアの特色(面)についての意見交換、またケーススタディに関する意見交換について。照明手法に関する提案、アイデアについて。

## 6 主な発言要旨

### (1)事業実施の考え方について

- ・ガイドラインは広範囲のエリアを対象としているため全てを整備するのは難しく、事業実施する際にポテンシャルの高い注目されている施設等の整備が優先されると考えられる。このため、①整備が遅れている箇所の事業を行いボトムアップを図るもの(古船場公園など)、②ポテンシャルが既にある箇所の事業を行い質の向上を図るものの、2つの方法に分けて考えてはどうか。
- ・実際にどこから整備して行くのかを考えた時に、暮らしにかかわるところが良いと思っていたが、小倉城のような多くの人目にとまるところからはじめると、皆の意識改革につながるため良いと思う。オーガイ通りのような生活にかかわる箇所も実施してほしい。

## (2)点、線、面の考え方について

- ・商業地域は面的なものなので、散策ルートとして一本線を通すのは難しい。例えば、ミクニワールドスタジアム北九州から小倉城までの光の誘導は、ミクニワールドスタジアム北九州から浅香通りまでを線で、堺町、魚町等の商業ゾーンは面で、みかげ通りから小倉城までは線という風に取り扱うのも一つの方法ではないか。
- ・ゾーン分けすることで、まちの特色がわかりやすくなった。
- ・ゾーン毎に、テーマを作って、テーマに沿ったライティングをすると良い。

## (3)照明手法について

- ・地域の特色を活かせるように、例えば歴史的なまちでは石畳に光をあてるなど、光をあてる対象についても素材を考えた整備を行うと良い。
- ・小倉のまちはやはり閉店後は暗いと感じる。その対策としても、コスト面からも、無線調光を取り入れると良いのではないか。
- ・灯りは機能性だけだと思っていたが、照らし方やケーススタディで全く雰囲気が変わると感じた。

## (4)堺町公園について

- ・堺町公園をより良くするために、電源の整備が必要。(例えば、音源用 3kw、熱源用 12kw)
- ・堺町公園のケーススタディがとても素敵だと思う。警察署のライトアップも良い。
- ・シップスガーデン(福岡市水上公園)のようにステージに下から光をあてることで魅力アップに繋がるのでは。また、シップスガーデンは丸く人工芝を張っただけで、ナイトヨガなど予想以上の使われ方をするようになった。芝を張ることでの効果もあると考えられる。

## (5)紫川について

- ・紫川は一番ポテンシャルがあると感じる。水と灯りの相性も良い。魅力が小倉で一番の場所にして、飲食後に人が集まってくる場所にできると良い。
- ・紫川のケーススタディも素敵なので、実現できると良い。
- ・紫川のケーススタディは、紫色がロマンがあって良いと感じた。今まで光を意識したことがなかったが、検討会に参加して注意してまちを見るようになり良かった。

## (6)あさの汐風公園について

- ・あさの汐風公園は開放的で良いと感じる。アンケートでも魅力的だと答えている人が多いため、もっとポテンシャルを高めてほしい。芝生の中心に人が集まっていないので、光をあてて集まりやすいようにしてはどうか。

## (7)その他

- ・商店街の閉店後のシャッターの均質的なファザードに対するライトアップは難しいため、光の品質、光のたまりなど工夫する必要がある。
- ・「博多ライトアップウォーク博多千年煌夜(はかたせんねんこうや)」のイベントは、昼間歩くよりも幻想的で良いと感じた。時々イベント的なものがあれば、夜のまちを歩く機会ができて良い。
- ・素晴らしいケーススタディにわくわくした。
- ・平和通のモノレール下は、照明も車のための通りだと感じる。人のための光が何かできると良い。
- ・小倉は暗いイメージのまちなので街灯で明るくしていくのかと思っていたが、夜間景観整備にはいろいろな手法があることがわかった。
- ・スポットがあたる箇所だけでなく、検討会で意見のあった、そうでない隠れた箇所も忘れないでほしい。
- ・オーガイ通りなどの東西の通りは人に説明しやすいが、南北の通りはしにくい。エリア分けて使用している「モノレール東側」のような表現はわかりやすいため、モノレールから〇本目という言い方が良い。
- ・通りなどの愛称をつけることで、市民の興味もわくのではないか。
- ・統一したサインなどを作り、ライトアップしてはどうか。